

児童発達支援 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7 年 3 月 14 日

事業所:ぼっとまむ

職員数:6人

回収率:100%

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など	改善目標、工夫している点などを踏ま えた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%				
	2 職員配置数は適切であるか	33%	67%		配置数+1人はどうか?(急な休み対応があった時の為)。数は足りているが、体の不調があるスタッフが多いため、体への負担が大きい。	既定の人員配置はできているが、スタッフの体調等を勘案し、直接支援の体制を決める。
	3 事業所の設備について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	33%	33%	33%		スロープ等、法令に則ったバリアフリー化ができてはいるが、緩衝材等を必要な個所に設置する。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%				
	5 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83%				アンケート集計結果の考察を共有する。
	6 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	67%	17%			HPで公開していることを周知する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	33%	17%	33%		外部評価は行っていないが、必要性を検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	50%	33%			虐待防止研修を年1回実施している。ミーティングを研修の場に充てていきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	83%				アセスメントを契約時に行っている。振り返りや保護者との面談を通して、モニタリング、支援計画の作成を行っている。
	10 子どもの適応行動の状況を計るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	67%				連絡帳の記載項目並びに5領域に即したアセスメントを行っている。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	83%				ガイドラインに即した内容が設定されているが、今後、研修等でガイドラインを周知したい。
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	83%				毎月のミーティングで広く意見を取り入れる。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%				
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	83%				一日の流れを考え、メリハリのある計画にする。
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%				

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など	改善目標、工夫している点などを踏ま えた改善内容又は改善目標
	17	83%	17%			時間的に難しい時は、報連相を徹底する。
	18	100%				
	19	83%				定期的にモニタリングを実施している。必要に応じて計画の見直しの必要性を検討していく。
関係 機関 や 保 護 者 と の 連 携	20	67%	17%			必要に応じて、担当者会議の内容を共有する。
	21	83%				必要に応じて関係者や関係機関との連携を図っている。
	22	50%		17%		現在、医療的ケアが必要な児童は利用していないが、必要な場合は実施する。
	23	33%	17%	17%		現在、医療的ケアが必要な児童は利用していないが、必要な場合は実施する。
	24	83%				現在、移行支援対象の児童はいないが、必要な場合は実施する。
	25	67%				今年度、対面での情報共有は実施していないが過去にはあり。書類を通して情報共有を実施している。
	26	50%	33%			事業所内研修を検討する。
	27	33%		67%		必要に応じて検討する。
	28	50%	33%			乙訓事業所連絡会に参加し、内容を報告している。
	29	100%				
	30	67%	17%			必要に応じて実施する。
31	83%				契約時等に説明している。 利用者負担軽減に努める。	

区分	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点など	改善目標、工夫している点などを踏ま えた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	83%				定期的に計画を保護者に説明し、同意を得ている。
	33	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%			その都度迅速に対応する。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会などを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	50%		33%		必要に応じて検討する。
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体勢を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	67%	17%			報連相を徹底する。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	67%	17%	17%		ぼつとまむ通信発行の再開を検討する。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100%				
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	17%	33%		年1回、長岡京市のイベントに参加している。また、ハロウィン週間に地域を歩いている。より開かれた事業所とするべく今後検討する。
非常時などの対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	67%	17%			各マニュアルの保管場所を周知する。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	83%	17%			最低、年1回実施する。
	42	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	83%				契約時に確認している。必要に応じて共有する。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	83%				必要に応じて実施する。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	67%	17%	17%		その都度、迅速に対応する。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	67%	17%			現在、身体拘束が必要な児童はいないが、各関係者・関係機関に伝達し、承諾を得てから実施する。